

## 巻機山山行報告

**【山行日】** 2016年 10月 16日(日) 晴れ  
**【集 合】** 岩舟支所P AM 4:00  
**【費 用】** マイカー1台 : 3,700円  
**【メンバー】** CL:鈴木ユ 梶内、大西、渡辺ト、伊藤、  
**【コースタイム】** 岩舟支所 P4:00=桜坂 P6:05/6:20~  
焼松 7:30~七合目 8:50~前巻機山 9:50~  
避難小屋 10:00/10:10~御機屋 10:35~1976m 地点  
10:45~御機屋 10:55/11:30~避難小屋 11:45~  
前巻機山 12:00~焼松 13:30~桜坂 P14:20/14:30  
=岩舟支所 P17:00



巻機山の紅葉が一番美しい時季に登りたいと、井戸尾根を往復するコースを計画した。今回は、先日の尾瀬ヶ原山行に体験山行で参加し、入会予定のI藤さんが参加してくれた。関越道の塩沢石打ICを降り、清水集落の中を抜けて桜坂の駐車場に着く。トイレに近い真ん中の駐車場は、満車に見えたが、一番奥が1台分空いていた。車を止めると、大勢の登山者が出かける準備で賑わっていた。我々も出かける準備をし、トイレを済ませストレッチをして出発する。橋を渡り一番奥の駐車場の左が登山口で、登山カードを入れる箱が設置されている。すぐに沢コースとの分岐となり、右に林道を進めばほど



なく井戸尾根登山口に出る。しばらくは樹林の中の石がゴロゴロした登山道を登り、3合目から尾根上の道を快適に歩く。多くの登山者が登って来るが、皆登るペースが速く次々に追い越される。徐々に傾斜が増えてきて、4合目から5合目は、通称「井戸の壁」とよばれる急坂だ。ゆっくりマイペースで登り、五合目の焼松に着き休憩をとる。焼松は展望が良く、米子沢谷や対岸の米子頭山が一望できる。焼松からはブナ林の尾根が続き、端正なブナの林を歩くのは本当に心地よい。6合目は展望台で、割引岳や天狗岩が堂々とした姿で聳えている。急な尾根道をどんどん登って

行くと、ブナ林から灌木帯に変化し、傾斜が緩むと7合目の檜穴ノ段に着く。休憩をとり、パイナップルやミックスナッツを食べエネルギーを補給する。ここからは目の前に立ちはだかる、前巻機山に遮られて、本峰は全く見えない。7合目から前巻機山への道は、チシマザサの急登でゆっくり登り高度をかせぐ。前巻機山頂は、巻機山の雄大な山容が味わえる絶好の展望台だ。

米子沢源頭の斜面を覆うオオシラビソの樹林と、チシマザサや草紅葉のコントラストが美しい。

ゆっくりと景色を楽しみながら木道を下ると、ほどなく避難小屋に着く。避難小屋で休憩し、トイレを借りてミカンを食べ出発する。小屋から少し登ると池塘の脇を通り、急な斜面に付けられた階段状の道を登ると稜線上に着く。大勢の登山者で賑わっており、巻機山山頂の標識があるが、御機屋と呼ばれる所だ。

本当の巻機山山頂は、稜線を10分程東に進んだところにある。1976mの最高点までの稜線歩きは、今回のコースで一番楽しく歩ける雲上のスカイライン。記念写真を撮り、眺望を楽しんだら御機屋まで戻る。





御機屋でランチタイムとし、ベンチの一角に陣取り、チタケうどんを作る。温かいチタケうどんはとても美味しく、キンピラやイワシタの新生姜やラッキョウも出て豪華なランチいただいた。昼食が済んだら下山する。避難小屋まで下り、トイレを借りて前巻機山へ登り返す。前巻機山で最後の眺望を楽しみ、記念写真を撮ったら一気に下って行く。皆さん調子が良く快調なペース下り、5合目で最後の休憩を取りリンゴで水分補給。5合目からもペースは衰えず、珍しく数組抜き去り一気に登山口へゴール。計画よりも1時間以上早く下山することが出来た。皆さん、大きな山を登り切った満足感で、笑顔が満ち溢れていた。

紅葉は、期待したほどではなかったが、ほどほどの紅葉は楽しめ、大満足の山行となった。